

～保護者の皆さまと  
学科をつなぐ  
ほっとライン～

# しまなみだより



Department of Nursing

第6号 2016年4月発行

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学の教育にご理解とご協力を頂きありがとうございます。11月15日の大学祭での保護者懇談会には、約20名の保護者にご参加いただきました。懇談会の中で、選択制である保健師課程についてのご質問が多くありました。在学生には、ガイダンスの機会や説明会を設け、保健師課程を選択するまでのプロセスを説明し、悩んでいる在学生には面談を重ね、意思決定を支えてきました。また、保護者の方への情報をより丁寧に行う必要性を感じ、この度、大学ホームページに「保健師課程Q&A」を掲載いたしました。どうぞご覧いただき、お子さまと進路について話す機会に活用していただければと思います。

看護学科広報担当部会



三原キャンパスのバス停横梅の写真、毎年3月初旬に見ごろをむかえます。

## 平成27年度卒業研究報告会を行いました！



4年生

卒業研究報告会が終わり、4年生と教員とで撮影しました。

2015年12月15日(火)に「平成27年度看護学科卒業研究報告会」を開催しました。本学では4年生になると卒業研究を開始します。4月に担当教員が決定すると学生はテーマを決め、この報告会に向けて教員の指導のもと看護研究を進めていきます。看護の臨床現場では、ひとつひとつのケアに科学的な根拠が求められ、看護研究はますます重要となっています。学生は、それぞれのテーマに合う研究手法を用いて調査し、明らかになった結果から考察を導き、新しい看護の知見を発表します。当日は62名の4年生が進行、座長といった役割も担い、発表は質疑応答を含め10分間の持ち時間でパワーポイントを用いて行われました。1～3年次の学生からも多数の聴講がありました。報告会で発表した内容を学生は1月に卒業論文として提出しました。論文は「卒業研究論文集」として2月に刊行され4年生に配布されています。ご家族の皆様、是非ご覧になってください。

(日高陵好)

# 平成27年度後期 実習・講義

## 1年生



基礎実習室で学生同士で患者役と看護師役になり洗髪の演習を行っている様子です。

1年生は、前期・後期にわたり、日常生活援助方法論という科目で、患者さんの日常生活を援助する看護技術について学んでいます。前期には、ベッドメイキングや体位変換、移動・移送、食事介助、排泄介助、バイタルサイン測定などの技術について学んできました。後期では、褥瘡や清潔の援助、無菌操作、創傷処置などの技術を学んでいます。学生は3~4名ずつに分かれ、看護師役と患者役を経験します。援助を行う際には、なぜそうするのか、という根拠を考え、そして、どうすれば安全・安楽に、スムーズに行えるかを工夫しながら演習に取り組んでいます。基礎的な看護技術をしっかり身に付けて、患者さんに合わせた援助を実践することができるようになることを期待しています。

(池田ひろみ)

## 2年生



2年生後期には看護の専門科目について実際に学びを深めます。その中で、小児看護学概論では小児看護技術について演習をしました。新生児や乳児人形を使用し、頭囲や胸囲を測り、測定値についてアセスメントを行いました。子どもの更衣や清拭を行ったり、ミルクを実際に調乳したり、授乳の姿勢をとるなど、育児技術を体験しました。本物の子どもではないですが、人形を本当の子どもと接するように声をかけて関わることで、学生は自然と笑顔になり、知識・技術だけでなく子どもと接する態度も体験していました。3年次・4年次の講義や実習に活かしてもらえたらと思います。

(土路生明美)



## 3年生

3年生の後期は統合実習、急性期・慢性期看護実習、老年看護実習、母性看護実習など多くの専門領域の実習を行います。

母性看護では、周産期看護（産科や産科外来）を中心に、不妊看護や地域での子育て支援も含めて学修する実習を行っています。27年度は1月18日から3月4日までの期間、3年生が4～6名のチームでそれぞれ2週間の実習を終了しました。産科病棟では産後のお母さんや生まれたばかりの赤ちゃんの看護ケアを行い、産科外来では妊婦さんについて学びました。新生児集中治療室(NICU)、不妊外来、助産院での実習では周産期看護についてさらに学びの幅を広げることができたようです。（日高陵好）



産科外来実習が終了して、ちょっとほっとした中で師長さんから説明を受けているところです。

## 教員の紹介 学科の名物教員をご紹介します!

准教授 井上誠

写真は平成27年10月に、コーポレーションパールスターとの共同制作で第6回ものづくり日本大賞 中国経済産業局長賞を受賞した賞状と共に写しました。

県立広島大学に就いてあっという間に8年になろうとしています。産学官連携にて靴下やハイソックスの研究を7年間おこなっておりますので、靴下が専門？下着が専門？ハイソックスが専門？とよく言われますが、実は精神看護学が私の専門です。こころの状態が元気なときも、病気になって長い経過をたどっている間も、その人のあり方を看護し、支え続けることが精神看護だと思っています。病気があってもなくても、楽しそうに生き生きとした人たちを見るのが好きです。落ち込んでいても、譲れないものを守っている人も好きです。人のありようをこころの健康という観点から見守り続けなくてはならない大切な科目だと考えています。相手の立場になって考えることを忘れないようにこれからも元気で頑張っていきたいと思っています。



## 学生さん いらっしゃ〜い!

日々の授業や実習・国試と、忙しくも充実したあつという間の4年間でした。みんなと笑い合い、過ごした時間全てが大切な思い出です。大変な事もありましたが、先生方の温かいご指導の下、仲間と支え合い乗り越えて来た事は、力となり自信に繋がりました。

この大学で看護師として目標になる素敵な先生方、そして大切な仲間に出会えた事にとっても感謝しています。ありがとうございました。



平成 27 年度 4 年生  
川井はなさん



卒業前に 4 年生と  
白衣で記念写真を撮りました!

## 〜卒業生 頑張っています!〜



平成 24 年度卒業生  
長谷川駿さん  
呉医療センター  
看護師

県立広島大学を卒業後、呉医療センターに就職しました。現在は消化器外科病棟で勤務しています。外科病棟は多くの手術を行っておりそれに伴った周手術期看護また化学療法を行っています。すい臓がんや食道がんといった侵襲の大きい手術も行って、術後の看護はとても大変ですが医師やリハビリ (PT.OT.ST など) の方々と協力して退院に向けてがんばっています。患者の状態はめまぐるしく変化していくので、その時に必要なケアを行えるよう、先輩方にご指導いただき、今日まで働いてこれました。今度は自分も先輩になるので、自分のリーダー業務はもちろんの事、後輩を支えられるような看護師になっていきたいと思っています。

長谷川さんは昨年、同級生吉田さんと結婚をしました。



看護学科「学生生活通信」について ご意見、ご感想などお寄せ下さい。

〒723-0053 広島県三原市学園町 1-1 TEL 0848-60-1120 (代表)

FAX : 0848-60-1134 (代表)

E-mail : nskouhou@pu-hiroshima.ac.jp

URL : <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/nursing/>

QRコード

発行 : 県立広島大学保健福祉学部看護学科 広報担当部会

